

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	兵庫県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	川西市立緑台中学校					
学 年	1 年	2 年	3 年	障害児学級	計	教員数
学級数	3	2	3	1	9	17
生徒数	88	78	112	1	279	

研究の概要

1. 研究主題

「生徒の自立をうながす指導を目指して」 ～個の力を伸ばす学習指導と評価のあり方～

2. 研究内容と方法

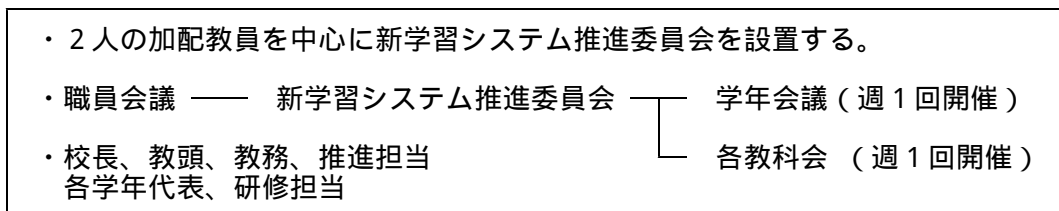
(1) 実施学年・教科

英語と数学担当の加配教員2名の配当を受ける。それを受けて、3年(3学級)の英語と数学の授業(週3時間×2)で少人数(ハーフサイズ)の学習集団を編成し、加配教員と各教科担任で少人数授業を実施する。

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	
平成15年度	3年英語(週3時間)、3年数学(週3時間)を少人数(ハーフサイズ)編成によって実施。 2年、1年でも英語・数学の少人数授業と同室複数授業を実施。
平成16年度	今年度の取り組みを継続していく。英語と数学において職員数、余裕教室等を考慮して可能な限りハーフサイズによる少人数授業を推進していく。

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

生徒にとっては少人数授業は質問がしやすく落ち着いて学習できる。また、生徒一人一人の発表の場が多くなる。机間巡視もやりやすく理解不十分な生徒への対応もしやすい。

2. 今後の課題

- ・ 研究課題を明確にしていくこと。
- ・ 少人数授業と生徒の学習意欲の向上との関連について調査研究を進める。
- ・ 担当教員の打合せの徹底。
- ・ 教室移動が増えてくるため、移動の際の忘れ物、遅刻等の問題が生じる。

学力把握のための学校としての取組

各学期ごとの中間考査、期末考査等の定期考査や実力テストによって理解の程度や興味・関心の程度を調査、研究していく。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

研修会での報告、研修収録へのまとめ。他校の研修会への参加を通して教職員に共通理解を求めていく。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- | | | | | |
|----------------------|--|-------------------------------------|--|--------------------------------|
| 【新規校・継続校】 | <input checked="" type="checkbox"/> 15年度からの新規校 | <input type="checkbox"/> 14年度からの継続校 | | |
| 【学校規模】 | <input type="checkbox"/> 3学級以下 | <input type="checkbox"/> 4～6学級 | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 7～9学級 | <input type="checkbox"/> 10～12学級 | | |
| | <input type="checkbox"/> 13～15学級 | <input type="checkbox"/> 16学級以上 | | |
| 【指導体制】 | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導 | <input type="checkbox"/> T・Tによる指導 | | |
| | <input type="checkbox"/> その他 | | | |
| 【研究教科】 | <input type="checkbox"/> 国語 | <input type="checkbox"/> 社会 | <input checked="" type="checkbox"/> 数学 | <input type="checkbox"/> 理科 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 外国語 | <input type="checkbox"/> 音楽 | <input type="checkbox"/> 美術 | <input type="checkbox"/> 技術・家庭 |
| | <input type="checkbox"/> 保健体育 | <input type="checkbox"/> その他 | | |
| | | | | |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | | 有 | 無 | |